

なぜなケアプランセンター



亭主関白で奥さんは苦勞をしてきた。認知症状があり、要介護になっても「デイサービスにはいかん」と頑なだ。ずっと夫が家に居ては奥さんも疲勞を感じる。デイサービスの体験だけでもと、何度か説得をすると、趣味の将棋ができる所なら…と渋々応じた。行ってみたところ「楽しかった」と笑顔で帰ってきた。今は週二日デイサービスを利用している。その間、奥さんは友人と会ったり、趣味に時間を使ったりして息抜きできている。奥さんからは、「今の状態がずっと続いてほしい」と言ってもらい、私の励みになっている。

共生の里ヘルパーステーション



訪問時、ドアを開けてすぐに「こんにちはー」と挨拶して、利用者の顔を見ながら「体調は変わりないですか？」等と聞くようにしています。ある利用者は、いつもヘルパーの体調や時間のことを気にかけてくれ、私の少しの鼻声でもすぐに気づきます。そして、私のこんにちはーに被るタイミングで、「ありがとう、大丈夫か？元気か？」と先に声をかけてくるのです。先に言いたい私は、心の中で「また先に言えなかったー、次は必ず私が先に．．．」と、毎回、変な気合を入れています。利用者に心配をかけないのも心得です。

誕生日に寄せて

息子がいる高槻に引っ越して来る一年半前までは、宮崎県で暮らしていました。地区の役員もされ、若いころには仕事で日本全国あちこち転勤しながらバリバリ仕事をしたと言います。とても真面目で几帳面です。誕生日会で「皆さんにお祝いしてもらい、いくつになっても嬉しいです。」そして、隣の奥さんの名前を呼び、「いつもありがとうな」と一言。周りからは祝福の拍手、バースデーソングが流れ、素敵な誕生日会でした。

